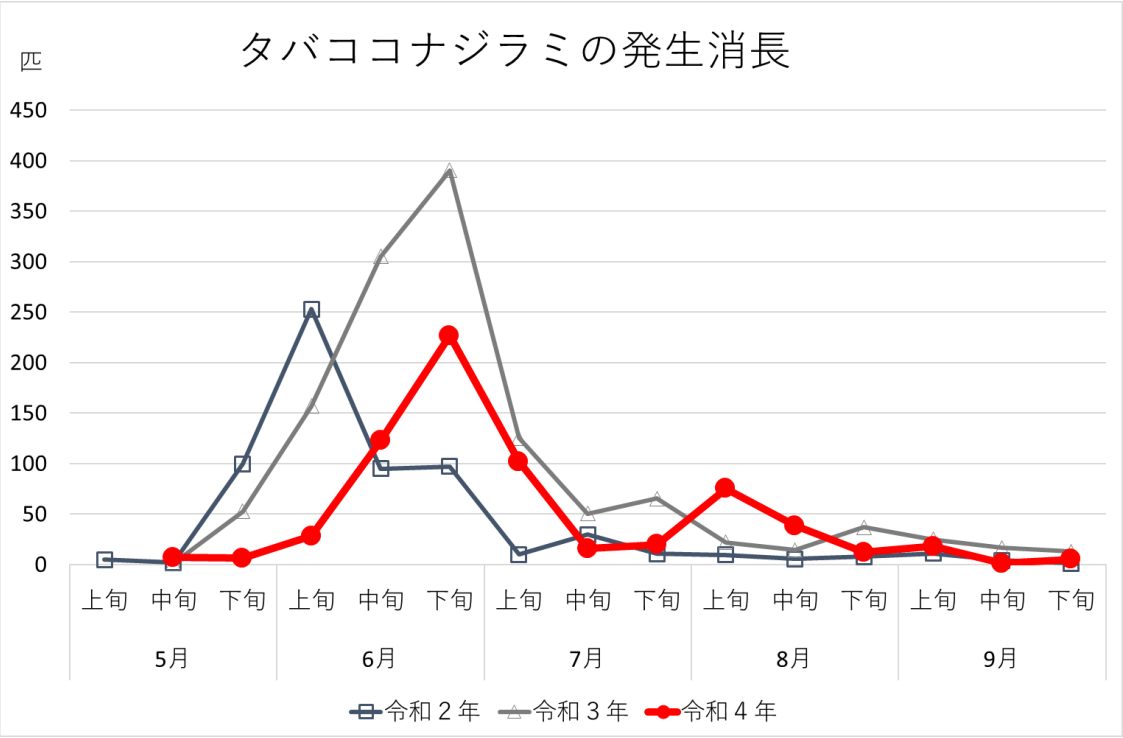
地域情報

（一社）熊本県野菜振興協会八代支部

地域のタバココナジラミの発生消長を把握する

八代地域における令和３年産トマト栽培では、トマト黄化葉巻病（タバココナジラミが媒介するウィルス病）の発生株率が高く、甚大な被害が発生しました。そこで、令和４年産に向けて、タバココナジラミの発生を低く抑えるための対策の徹底を関係機関と連携して実施しました。特に、作終了時には、タバココナジラミをハウス内から野外へ出さないためのハウスの蒸し込みや地域一体（トマト黄化葉巻病対策作業部会）となった除草作業等が徹底されました。

例年、熊本県野菜振興協会八代支部では、管内９か所に黄色の粘着板を設置し、タバココナジラミの野外における発生消長を確認しています。対策の成果もあり、タバココナジラミの発生のピークは令和３年産の約半分程度、その後も一時的に若干高くなることもありましたが期間を通して低く推移させることができました。その結果、本年産ではトマト黄化葉巻病の発生株率は低く抑えることができ、対策徹底の効果が示されました。